

キリストへの応答としての教育の留意点：「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の本学該当科目やその他の科目の教育実践から

Points to note in education as a response to Christ,
And reports on implementing such education in data science, AI, and other lectures

コミュニティ福祉学科 中原陽三

1 はじめに

私は、神様に救われ、心から喜び、神様へ心から感謝しているキリスト者である。神様は、先に救われた者に対して「まだ神様のことを聞いたことがない者へ『キリストの十字架と復活に表されている神様の御心と御業』を伝えて、信仰へ招くこと」（すなわち伝道）を求めておられると、私は認識している。このいわゆる伝道命令へ従うことは、私へ与えられた救いと溢れる喜びを他の方へも分かち働きを為すことであり、私にとっても喜びである。また、神様は「神様の御心に沿って（従って）生きたい」との思いを与えて下さっている。

教育に携わるときにも、種々の科目における日々の講義においても、「神様の御心に沿おう（従おう）」としてきた。キリストの父なる神様の御心（それは三位一体の神様の御心でもある）をたずね求め、何よりも御心に聞き従う教育である。その工夫も、神様の導きの中でしてきた。

本稿では、そのような「御心に聞き従う教育（キリストへの応答としての教育）」で留意すべき点を6つ提案する。次に「御心に聞き従う教育（キリストへの応答としての教育）」の実践について、2023年度前期における実践の一部を中心に、報告する。

2. 「御心に聞き従う教育（キリストへの応答としての教育）」で留意すべき点の提案

次の（１）～（６）を提案する。ただし、（１）～（３）は「科目受講生以外の学生（教育対象者）」をも対象にしている留意点であり、（４）～（６）は、「科目の受講生」を対象とした留意点である；

- （１）「目の前にいる学生一人一人を神様は造り、大切にされていること。目の前の学生のうち、まだ信仰に至っていない者に対して、御子の命を犠牲にまでして永遠の命へ導こうとされていること」を、信仰により喜びと感謝を以て受け取る。
- （２）自らがキリスト者であることを学生へ隠さない。信仰の内容、与えられた溢れる喜び、神様への心からの感謝の思いについて、簡潔に短く示せるようにしておき、時（講義以外の「時」も含める）をとらえて学生へ話す。

- (3) 「神様の御心に沿って生きよう。そのように生きる中で学ぼう」というキリスト者としての提案（勧め）を、あくまでも提案として、しかし率直に、時（講義以外の「時」も含める）をとらえて学生へ話す。
- (4) 「神様が受け取るように招いて下さっている救い」に関連する科目毎の目的・到達目標・授業内容について、検討・案出し、シラバスの「授業の目的と到達目標」、「授業内容」といった項目であらかじめ明示する（ただし、採用されているシラバスの形式によって項目名は異なる可能性がある）。
- (5) シラバスの「その他学生へのメッセージ」で、キリスト者としての提案、勧め、思いを率直に明記する（ただし、採用されているシラバスの形式によって項目名が異なる可能性がある）。
- (6) 授業開始時に毎回受講生と共に祈る。信仰の全貌を簡潔に把握できる祈りとする。

注1：中原は「キャリアデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」の授業担当であり、授業には原則出ているが、メインスピーカーは各種外部講師で、中原は成績担当の位置づけである。2022年度以前の「キャリアデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」では、授業開始前ではないが、何度か祈ってきた。2023年度前期の「キャリアデザイン演習Ⅰ」では祈っていないと思うが、コメントの中で「アンケート追加質問表Bの【詳細】の1」（3の（2）参照）と同様のことを提案したと思う。

注2：授業開始時にほぼ毎回祈ってきた祈りの内容は2023年度前期はだいたい次の□枠内のとおり（中原が祈祷した）。2020年度にはすでにほぼ同じ内容で祈っていたと思うが、少しずつ変えてきている；

主イエス・キリストの父なる神様、私たちを大切に下さり、ありがとうございます。

人となって来られたイエス・キリスト以外、私たち人間はすべてあなたに対して罪があり、そのままでは死んだあと、永遠の苦しみを受けなければなりません。しかしあなたはそのような私たちを深く憐れんで下さり、私たちがあなたの許で永遠に喜んで生きることができるようになるためのただ一つの方法を、イエス・キリストによって与えてくださっております。

すなわち、イエス・キリストをこの世に送り、私の罪のすべて、一人ひとりの罪のすべてを代わりに負わせ、私の身代わりとして、そして一人ひとりの身代わりとして十字架につけ、復活させ、イエス・キリストを信じて洗礼を受ける者に永遠の命と聖霊を与えようとして下さいました。

今に至るまで、一人ひとりを、あなたの下で永遠に喜んで生きる歩みへ招き、その歩みを始めた者へは「その歩みの確かさ」と「恵みと祝福の豊かさ」を改めて示し、それを実際に味わい知ることができるようにして下さいます。誠に感謝です。

主よ、どうぞ私たちがあなたの尊い御心を受け取り、あなたから永遠の命と聖霊をいただいて、あなたが望んで下さるように、あなたの許で永遠に喜んで生きる歩みを始めることができますように。また、恵みによりすでに歩んでいる者は、その歩みを続けることができますように、どうぞこれからも導いてください。

あなたの尊い御心と御業の中で、静岡英和学院大学をお造り下さり、この授業も計画され、今も共に居て、一人ひとりを励まして下さっております。ありがとうございます。主よどうぞ御心にかなった学びができますように導いてください。本日お休みの方をも御手のうちにおき、守り導いてくださいますことを感謝致します。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

3. 「御心に聞き従う教育（キリストへの応答としての教育）」の実践報告～2023年度前期における実践の一部を中心に～

（1）「2023年度前期中原担当科目の一部」の「シラバスの一部分」を、次の表1～表4で示す；

表1. 「2023年度 数理・データサイエンス・AI基礎」（人間社会学科とコミュニティ福祉学科の各学科における1年次開講必修科目（「専門教育科目 基礎科目群」の科目））

授業の目的と到達目標	目的（1～2）：1. 「神を敬愛し、感謝し、神と人に仕える」という生き方を学習において体験していく（大学聖句の「愛の実践」を体験） 2. 数理・データサイエンス（DS）・AIを日常の生活や仕事等の場で適切に使いこなす基礎的素養を身に付ける。 到達目標（①～③）：①数理・DS・AIが社会で活用されている現状と今後の可能性を具体的に知る。②皆の幸せのためにこれらを学んで活用する意欲を持つ。③「神を愛し、隣人を自分と同様に愛する」（学院聖句ルカ10：27参照）との適切な判断のもと、自らの意志でAI等の恩恵を享受し、 <u>これらを説明できる。</u>
授業内容	生き方と学習の心構えについては、毎回触れる。また、数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム（以降、LMC）における導入、基礎、心得の学修内容のうち、「2. データリテラシー」以外を学んでいく（「2. データリテラシー」はネットワーク・リテラシーで学修する）。 原則として実況型オンライン授業を行う。関連動画を授業の中で適宜視聴する。授業時間外の各自での視聴を指示する場合もある。また、ほぼ毎回提示する小テスト課題に対し、指定期限までに各自回答する。「閲覧期限を履修期間中に限り、<u>閲覧者を履修者のみに限る</u>」動画の他、<u>その制限はない動画も紹介する。</u>
その他学生へのメッセージ	数理・データサイエンス・AIが既にさまざまな分野で活用されていることと、今後これらを人々の幸福のために今までより広く深く活用できる大きな可能性を知ろう。また、日常の生活や仕事等の場でこれらを適切に使いこなす基礎的素養を身に付け、人々の幸福のために適切に使っていこう。

太字で下線を付した部分は、2023年度後期からのポータルシステムでのシラバスでは文字がない（2023年12月4日確認。なお、2023年度後期からポータルシステムが変更になっている）。しかし、授業用サイト（WordPressで中原が個人的に作成しているサイト）には授業をしていた前期に載せており、2023年12月4日にも掲示を確認したので、受講生だった者は閲覧パスワードにより今も閲覧できる。

なお、本科目の新設は「リテラシーレベルのプログラム認定」[1] を受ける計画の一環であるが、より難易度の高い「応用基礎レベルのプログラム認定」[2] を受ける計画も当初中原は立案した[3]。「プログラム認定制度」の背景には政府のAI戦略2019やSociety5.0があり、福祉その他の社会課題を解決するためにICTを活用していく見通しがある。

表 2.「2023年度 ネットワーク・リテラシーF」（中原担当クラス。科目としては、各学科における1年次通年必修科目（「基礎教育科目 コモンベーシックス 情報処理科目群」の科目）

注：シラバスはネットワーク・リテラシーの科目で共通とし、中原が執筆している（担当者毎にシラバスを作成した時期も開学当初にあり、ある部分だけ担当者に任せる手法をとったこともあったが、共通部分を徹底させるために、5～6年ほど以上前から、中原が執筆としている）。

授業の目的と到達目標	生活や大学での研究等に必須のネットワークリテラシ（情報倫理を含む、ネットワーク時代の情報リテラシーで、「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」のデータリテラシーを含める）を入学初年度に修得する。その中で、与えられている力を神と人（わかりにくければ、隣人と社会）に仕えるために用い、学院聖句を体現しようとする温かい心を養う。「この『温かい心』自体の理解の自覚」と、「ネットワークをそれまでより1.4倍以上よく使えるようになること」（総合自己評価）が到達目標である。教員は一人一人を大切に、 全体のボトムアップを目指す。
授業内容	神と人に知識や技能を捧げるための学びが大学聖句の「愛の実践」であることを理解し、本科目での学びでその実践を積む。インターネット上のLANに有線か無線で接続したWindows PCを一人一台ずつ用いて実習する（実習項目は、セキュリティ管理、OS、LAN、インターネット、クラウド（Office 365 ProPlus／Education（OneDriveなど）、大学WebメールとGmail）、タッチタイピング、Officeの利用、データリテラシー、Excelによる大規模データの扱い、Pythonの基本、 スマホとPCの連携（スマホ携帯者）、手書き図のトレースとSVG化、PPやフォトでの動画作成、Web頁作成（HTML・CSS）と本学サーバへの転送・公開、SNS、動画公開など ）。 受講生は、習熟度に応じて指定されたクラスに所属し、下記1～30回を基本に適宜修正された内容を学ぶ。
その他学生へのメッセージ	皆のために用いる大きな能力を身につけましょう。グレード別クラス編成とし、各グレードでは上記内容の教育内容と実施方法を、主にアプリケーション教育部分で調整します（ただし7回目～10回目における、データを読む、データを説明する、データを扱う、データを扱うその2については、どのグレードでもしっかり行います）。愛神に心と精神と思いを尽くし、愛隣し、神と人とへ仕えましょう。そのように生きましょう。その一環として学びましょう。祝福を祈ります。なお、担当教員によって、内容が細かい部分で異なることがあります。

下線を付した太字部分は、2023年度後期からのポータルサイトでのシラバスでは文字がないことを確認できた。中原の授業用サイト（WordPress）にも2023年度のシラバスをいれていなかったが、原稿と思われるファイルや、2022年度と変更してないはずであることから、推測して上記に追記した。

なお、ネットワーク・リテラシーは通年科目であり、後期も講義継続中であるので、授業用サイトを修正し、明確に上記の3項目がわかるようにした（2023年12月6日）。

注意：長年行ってきたグレード別クラス編成は、事情により、2023年度はできなかった。

表 3. 「2023年度 キャリアデザイン演習Ⅰ」（人間社会学科とコミュニティ福祉学科の各学科における3年次前期開講選択科目（「専門科目 展開科目群」の科目））

授業の目的と到達目標	学院聖句「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい。」（ルカ10：27）ならびに大学聖句「愛の実践を 伴う信仰こそ 大切です。」（ガラテヤ5：6）を基に、自らの生き方や社会貢献についてあるべき姿を深く考えることができるようになる。さらに大学生の就職活動の現状と自身の特徴も踏まえ、具体的な将来展望構築とその展望へ向けた目標設定を行い、適切な努力ができるようになる。就職面接で見られているポイントを知り、自分の意欲や長所を <u>適切に伝えられるようになる。</u>
授業内容	就職活動に有用な情報サイトの活用等について学び、自己理解を進めて自身の適性を知るワークを行い、学院聖句「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい。」（ルカ10：27）ならびに大学聖句「愛の実践を 伴う信仰こそ 大切です。」（ガラテヤ5：6）を基に、自らの生き方や社会貢献についてあるべき姿を深く考える。自身の適正（特徴）も踏まえつつ将来展望を構築し、展望へ向けて目標設定を行い、これらを適宜見直しつつ、目標達成を目指す。 <u>就職面接の注意点を踏まえた準備やワークを行う。各回の具体的内容は下記のとおり。</u>
その他学生へのメッセージ	積極的な参加態度が必要であり、課題が多いので、しっかり取り組むこと。授業計画の順番変更などの連絡は原則として掲示板で行うので注意のこと。 就活に有用な具体的な技能を得ることができますが、就活の具体的な手順や具体的な方法だけに気を取られず、受講と並行して「自分はどのように生きるのか」「自分はどのように社会貢献をしていくべきなのか」について、聖書や建学の精神を基にしっかり考え続けてみて下さい。

下線を付した太字は、2023年度後期から新しくなったポータルのシラバスでは表示されていない。元データと思われるファイルを参考に、下線を付した太字を追記した。

表 4. 「2023年度 ICTと福祉」（コミュニティ福祉学科における1年次開講選択科目（「専門教育科目 展開科目群」の科目））

授業の目的と到達目標	ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）の基礎と、福祉等へのICT活用（社会におけるデータ・AI利活用を含む）について、理解を深め、自ら工夫して活用していける能力を高める。その中で、持てる力を皆（神と人）のために用いようとする温かい心を養う。学生は、学院聖句と大学聖句と学ぶこととの関係を知ることができる。また、ICTの福祉等への活用状況について傾向と事例を知り、プログラム開発の提案等による利用促進もできるようになる。「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」（以降、「モデルカリキュラム」と呼ぶ）のうち「導入」「心得」に準拠する学びの目標にも達する。「オプション」の「アルゴリズム基礎」と「データ構造とプログラミング基礎」に準拠する学びについても同様である。
------------	---

授業内容	ICTの基礎と、福祉等へのICT活用状況を概観する。保育や教育等への活用状況にも簡単に触れる。さらに、各自のノートパソコンを用いて、スクリーンリーダ、点字変換、データベース、プログラミング等を体験実習する。「モデルカリキュラム」のうち「導入」「心得」に準拠する学びを含む。「オプション」の「アルゴリズム基礎」と「データ構造とプログラミング基礎」に準拠する学びも含む。
その他学生へのメッセージ	モバイルやクラウドなど、進化し続ける情報システムが、福祉・保育・幼児教育・社会へ果たしている大きな役割について、一緒に考え、学びましょう。「数理・データサイエンス・AI」の基礎のカリキュラムと重なるので、それについても学びましょう。愛神に心と精神と思いを尽くし、愛隣し、神と人とへ仕えましょう。そのように生きよう。その一環として学ぼう。主の豊かな祝福を祈ります。

下線を付した太字は、2023年度後期から新しくなったポータルシステムのシラバスでは表示されていない。中原授業用サイトには前期開講時に明記している。これを参考に下線を付した太字を追記した。

2023年度における基礎演習Ⅲ・専門演習Ⅰ・卒業研究のシラバスは割愛する。

(2)「2023年度前期 学生による授業改善のためのアンケート」に授業担当として追加した質問について、受講生へ連絡した文面がわかる形式で、次の「アンケート追加質問表A」～「アンケート追加質問表F」で示す。

注意1：レイアウトは受講生へ連絡したものとは限らない（後期にポータルシステムが変更になっており、現時点で、「前期に学生が閲覧したであろうレイアウトを保っている情報」を取得できないため）

注意2：「2023年度前期 学生による授業改善のためのアンケート」でも、ここ何年間かのアンケートと同様に、科目担当教員から質問を回答対象者（受講生）へ追加提示することが可能となっていた背景がある。

アンケート追加質問表A 「2023年度 数理・データサイエンス・AI基礎」（人間社会学科とコミュニケーション福祉学科の各学科における1年次開講必修科目（「専門教育科目 基礎科目群」の科目））

タイトル	連絡の内容
＜重要＞ 授業の課題への回答、並びに、授業改善アンケートへの24日までの回答	【レポート課題対象時間割】 火5限 数理・データサイエンス・AI基礎 中原 陽三 【タイトル】 ＜重要＞授業の課題への回答、並びに、授業改善アンケートへの24日までの回答 【詳細】 1. 単位が必要な者は、無回答あるいはほぼ無回答の課題に回答し直してください（無回答とするように指示があったものは、そのままOK）。回答し直すことができない、あるいはわからない場合は、どのようにできないのかなど状況をコメントして下さい。回答し直しの期限は、授業の最終回に言及します。

	2. 7月7日にポータルから連絡された「アンケート入力マニュアル（学生用）.pdf」を確認し、「学生による授業改善のためのアンケート」に協力をお願いします（7月24日（月）が回答期限です）。 3. 上記2のアンケートの最後の設問は、次の【】内です。アンケートの最後にこの設問へ回答して下さい； 【静岡英和学院大学がキリストを大切にする点に深く共感しつつ、本学としての「数理・データサイエンス・AI基礎」を実施しました。授業開始時の毎回の主への祈りが、あなたの生き方や学びの姿勢へ及ぼした「良い影響」と「悪い影響」を挙げてください。】 【提出期限】 7/24（月）23：30 ■期限後の提出を許可しない
--	--

アンケート追加質問表B 「2023年度 キャリアデザイン演習Ⅰ」（人間社会学科とコミュニティ福祉学科の各学科における3年次前期開講選択科目（「専門科目 展開科目群」の科目））

タイトル	連絡の内容
キリストと生き方について、及び、「授業改善アンケート」協力願（7月24日（月）回答期限）	【レポート課題対象時間割】 月5限 キャリアデザイン演習Ⅰ 中原 陽三 【タイトル】 キリストと生き方について、及び、「授業改善アンケート」協力願（7月24日（月）回答期限） 【詳細】 1. 中原（科目担当）です。本科目を就活技能を学ぶ機会とするだけでなく「どう生きるかについて、静岡英和学院大学へ神様に招かれた学生として、深く考える機会」とすることを強く期待します。 2. 7月7日にポータルから連絡された「アンケート入力マニュアル（学生用）.pdf」を確認し、「学生による授業改善のためのアンケート」に協力をお願いします（7月24日（月）が回答期限です）。但し回答済みの場合は再回答できず、再回答しなくてOKです。 3. 上記2のアンケートの最後の設問は、次の【】内です。アンケートの最後にこの設問へ回答して下さい； 【キリストは、私達を永遠に生かすために、神様に従って、私達の身代わりとして

	十字架について下さいました。十字架の上で、自らを殺す者のために、神に許しを祈られています。キリストは、キリストを受け取るよう私達を今も招き、そして、次を大切なおきてとしています； 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい。（学院聖句です） 上記を踏まえ、どのように生きようとするか、簡潔に回答してください。】 【提出期限】 7 / 24（月）23：30 ■期限後の提出を許可しない
--	---

アンケート追加質問表C 「2023年度 基礎演習Ⅲ」（コミュニティ福祉学科における2年次必修科目（「専門教育科目 演習科目群」の科目）） 注：人間社会学科に同名の科目が設置開講されているが、別の科目である

タイトル	連絡の内容
祈り、および、「授業改善アンケート」協力願（7月24日（月）が回答期限です）	【レポート課題対象時間割】 木2限 基礎演習Ⅲ 中原 陽三 【タイトル】 祈り、および、「授業改善アンケート」協力願（7月24日（月）が回答期限です） 【詳細】 1. 毎回の授業開始時の祈りの中でも共に祈ったように、「この授業で学んだことを、誰よりも神様へ、そして、神様が心から大切にされている一人ひとりすべての方へ、すべて捧げいくことができますよう、どうか導いて下さい」と神様へ共に祈りましょう。 2. 7月7日にポータルから連絡された「アンケート入力マニュアル（学生用）.pdf」を確認し、「学生による授業改善のためのアンケート」に協力をお願いします（7月24日（月）が回答期限です）。但し回答済みの場合は再回答できず、再回答しなくてOKです。 3. 上記2のアンケートの最後の設問は、次の【】内の2問です。アンケートの最後にこの設問へ回答して下さい（回答する設問の番号を記入してから回答下さい）； 【設問1. 担当教員は「受講生から好意的に受け入れられることを第一にして、指導内容の徹底よりも優先していた」ということをしていましたか？

	設問2. 静岡英和学院大学がキリストを大切にする点に深く共感しつつ、本科目を実施しました。授業開始時の毎回の主への祈りが、あなたの生き方や学びの姿勢へ及ぼした「良い影響」と「悪い影響」を挙げてください。】 【提出期限】 7/24（月）23：30 ■期限後の提出を許可しない
--	---

アンケート追加質問表D 「2023年度 卒業研究」（コミュニティ福祉学科4年次開講必修科目（「専門教育科目 演習科目群」の科目））、ならびに、「2023年度 専門演習Ⅰ」（コミュニティ福祉学科3年次開講必修科目（「専門教育科目 演習科目群」の科目））

タイトル	連絡の内容
祈り、及び、「授業改善アンケート」協力願い（7月24日（月）が回答期限です）	【レポート課題対象時間割】 水3限 卒業研究 中原 陽三 水4限 専門演習Ⅰ 中原 陽三 【タイトル】 祈り、及び、「授業改善アンケート」協力願い（7月24日（月）が回答期限です） 【詳細】 1. 毎回の授業時の祈りの中で共に祈ったように、「どうか私達があなたのその尊い御心を受け取り、あなたから喜んで永遠の命と聖霊をいただき、あなたが私達に望んでくださるように、あなたの下で永遠に喜んで生きる歩みを始め、既に始めている者はそれを続けていくことができますように」「この授業で学んだことを、誰よりも神様へ、そして、神様が心から大切にされている一人ひとりすべての方へ、すべて捧げいくことができますよう、どうか導いて下さい」と神様へ共に祈りましょう。 2. 7月7日にポータルから連絡された「アンケート入力マニュアル（学生用）.pdf」を確認し、「学生による授業改善のためのアンケート」に協力をお願いします（7月24日（月）が回答期限です）。但し回答済みの場合は再回答できず、再回答しなくてOKです。 3. 上記2のアンケートの最後の設問は、次の【】内です。アンケートの最後にこの設問へ回答して下さい； 【静岡英和学院大学がキリストを大切にする点に深く共感しつつ、本科目を実施しました。授業開始時の毎回の主への祈りが、あなたの生き方や学びの姿勢へ及ぼした「良い影響」と「悪い影響」を挙げてください。】 【提出期限】 7/24（月）23：30 ■期限後の提出を許可しない

なお、2023年度「ICTと福祉」については、同科目に対する中原授業用サイトの2023年7月21日の頁で追加提示を行っている；

アンケート追加質問表E（中原授業用サイトから連絡） 「2023年度 ICTと福祉」（コミュニティ福祉学科における1年次開講選択科目（「専門教育科目 演習科目群」の科目））

授業評価アンケート

最後の設問は次に回答してください；

キリスト教大学である静岡英和学院大学で、ICTと福祉を実施してきました。

毎回の授業における最初の主への祈りは、あなたの生き方や学び方へどのような影響がありましたか？

同様に、「2023年度 ネットワーク・リテラシーF」（中原担当クラス。科目としては、各学科における1年次通年必修科目（「基礎教育科目 コモンベーシックス 情報処理科目群」の科目）については、同科目に対する中原授業用サイトの2023年7月24日の頁で追加提示を行っている；

アンケート追加質問表F（中原授業用サイトから連絡） 「2023年度 ネットワーク・リテラシーF」（中原担当クラス。科目としては、各学科における1年次通年必修科目（「基礎教育科目 コモンベーシックス 情報処理科目群」の科目）

B. 授業改善アンケート

アンケートの最後の設問は、次の【】内です。アンケートの最後にこの設問へ回答して下さい；

【静岡英和学院大学がキリストを大切にする点に深く共感しつつ、本科目（前期）を実施しました。授業開始時の毎回の主への祈りが、あなたの生き方や学びの姿勢へ及ぼした「良い影響」と「悪い影響」を挙げてください。】

4. おわりに

本稿では、「御心に聞き従う教育（キリストへの応答としての教育）」で留意すべき点を6つ提案し、同教育の実践について、2023年度前期での実践の一部を中心に報告した。

なお、2022年度頃からキャリアデザイン演習のアンケート結果を見て手応えを感じ始めていた。2023年度前期の授業改善アンケートの結果などから、上記教育が、特に毎回の祈りが、受講生一人ひとりへ深い反響を呼んでいるようであることを、主に心から感謝する。御心ならば、本稿を、今後の検討の一步としたい。

主にのみ栄光がありますように。

SDG

5. 参考文献

- [1] 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）：文部科学省」, 文部科学省ホームページ. 参照：2023年12月3日. [Online]. Available at:

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00002.htm

- [2] 「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）：文部科学省」, 文部科学省ホームページ. 参照：2023 年 12 月 6 日. [Online]. Available at: https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00002_00003.htm
- [3] 「モデルカリキュラム（応用基礎レベル） | 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム」. 参照：2023 年 12 月 6 日. [Online]. Available at: http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/model_ouyoukiso.html

